

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>Histologic features predictive of basal cell carcinoma recurrence: results of a multivariate analysis</b>	
	論文の日本語タイトル	基底細胞癌における組織学的な再発予測因子. 多変量解析	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ( 1 )	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ18-9	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー/メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究 (コホート研究や症例対照研究) V. 記述研究 (症例報告やケースシリーズ) VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( IV )	
	Pubmed ID	8320358	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Journal of Cutaneous Pathology	
	雑誌 ID		
	巻	20	
	号	2	
	ページ	137-142	
	ISSN ナンバー	pISSN: 0303-6987 eISSN: 1600-0560	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 2 )	
	発行年月	1993	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Dixon AY	University of Kansas Medical Center
	その他著者 1	Lee SH	
	その他著者 2	McGregor DH	
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
その他著者 7			

一次研究の 8項目	目的	基底細胞癌における組織学的な再発予測因子を同定する	
	研究デザイン	症例対照研究	
	セッティング	米国の1総合病院	
	対象者	基底細胞癌の再発30例と非再発74例	
	対象者情報(国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報(性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報(年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入(要因曝露)	6因子(切除断端との距離、増殖パターン、胞巣の形状、辺縁の性状、核の多形性、辺縁の柵状配列)	
	エンドポイント(アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	再発	1.主要 2.副次 3.その他(1)
	2		1.主要 2.副次 3.その他( )
	3		1.主要 2.副次 3.その他( )
	4		1.主要 2.副次 3.その他( )
主な結果	20の組織学的な因子を含めたモデルでは、切除断端との距離と胞巣の形状が有意な再発の予測因子として選択された。単変量解析で有意とされた上記6因子を共変量とした多変量解析では、切除断端との距離と増殖パターンが有意な再発の予測因子として選択された。		
結論	切除断端との距離が短い、胞巣の形状が棘状、増殖パターンが浸潤型・表在型・斑状強皮症型のいずれかの組織学的因子を有する症例については再発のリスクが高いため、それに応じた取り扱いが必要。		
備考			
レビューワー コメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類(IV) 基底細胞癌の再発に影響する組織学的因子を多変量解析で詳細に分析したものであるが、対照とした非再発症例の選択の基準についての記載が乏しい。	